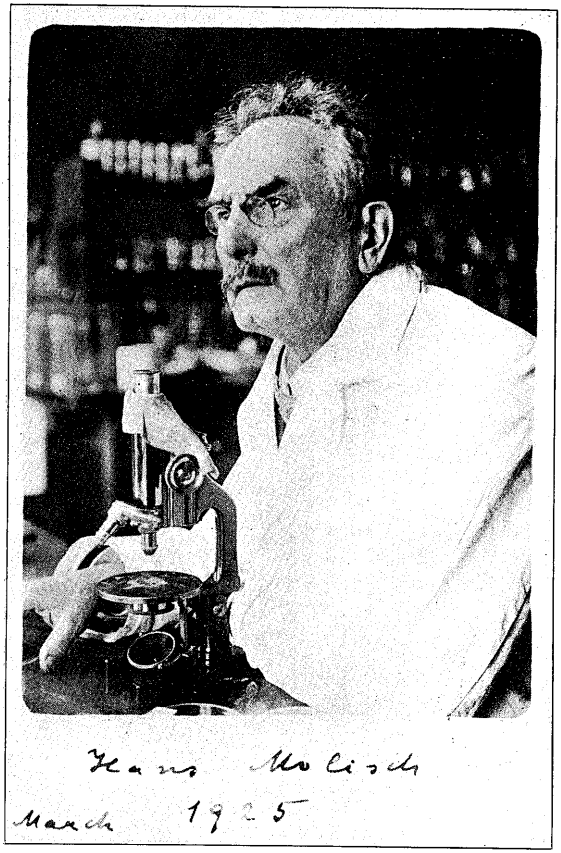
デ明瞭ニ別テル、殊ニ注目スベキ點ハこまうせんごけノ方ハ葉ガ著シク紅味ヲ帶ビ若葉ガさわらび形ノ屈曲ヲナシくるまばまうせんごけハ葉色目立テ綠色ヲ呈シタヾ腺毛ノ尖端ノミガ紅ク又若葉ハ左右カラ卷キ合テ居ル

○生命ノ起原トシテ考慮セラレル植物

東京帝國大學農學部講師　向坂道治



モーリッシ先生並ニ其自署

生命ノ起原、生物發祥ノ學說ハ古來ノ大問題デ幾多ノ大生物學者、大物理學者ガ各自畢生ノ研究ノ結論トシテ各々ガ達シ得タ生命論ヲ以テ闡明シタルガ如ク考フルモ何レモ未完ノ說デアッテ今ナホ議論百出シ容易ニ決定セラルヽモノデナイ、嘗テ東北帝國大學ニ聘セラレタ墺國ウィーン大學教授モーリッシ氏ハ彼ガ研究ノ結果トシテ紅色バクテリアヲ生命ノ最初ノ者ト考ヘソノ紫外光線ニ對シ強度ノ抵抗力アルコトヲ實驗證明シ地球ノ過去或ハ他ノ天體ヨリ紫外線ノ強キ光ノ中ヲ生活シツヽ我ガ地球

ニ到達セルモノナラント考ヘタ、更ニ日本滯在中處々ノ溫泉ヲ見物シソノ高溫度ノ水中ニ生活スル藍藻類（分裂藻類）ヲ發見シテ前說ヲ非トシ藍藻類ヲ地球ノ高熱時代ニ發生セル第一ノ生物トシ生命ノ起原的生物ト斷定シタ、周到ナルモーリッシ氏ノ學說モ尙半假設的ノ臆測ノ域ヲ脫シテハ居ラン或ハ更ニ改正セラルヽナランモ兎ニ角紅色バクテリア或ハ藍藻類ガカヽル意味ニ於テ生物最初ノモノト考ヘラレル事ハ面白イ事デアル

○「バイブル」ノ植物　（其三）　（本誌第一卷第七號ヲ承ク）

篠崎信四郎

吾々ハ「バイブル」ナル語ヲ何ノ遲疑スルトコロナク「キリスト」敎ノ聖典ヲ指シテ用ヒテ居ルガ其語原ノ「ビブロス」(βίβλος) ナルギリシャ語ハ古代エヂプトニテ製紙原料ニ供シタかみがやつり (Cyperus Papyrus L.) ノ名デアルソレガ紙ニ通用シ更ニ書物ニモ通用サレテラテン語ノ形ニ移リ「ビブルス」(Biblus) トナリ是レガエングリッシ化シテ Bible ナル固有名詞ニ轉ジタノデアル吾々ハ此「ビブロス」ニヨリテ楮ナル文字ヲ連想スル楮 (choo) ハ我邦ヤ支那ニテ製紙原料トスル植物ノ名デアルソレガ或場合ニ紙ニ通用サレテ楮幣ト紙幣ト同一視サルヽ事ガアル然カシ書物トシテ用ウル事ハナイ楮冊トカ楮策トカ書ケバ書物ノ事デアルガ楮ナル一文字デハ書物ニ通ジナイ、物ノ名稱ヲ考フル時ニ原料ノ名ヲ以テ其製品ヲ呼ブ例ハ數多アル是ハ原始的命名法ノ一ト見ルベキデアラウ序ニ楮ヲかうぞト訓ム事ニ就テ少シ誌シテ置ク吾々ハかうぞヲ以テ和名ノ如ク取扱ヒ居ルガソレハ誤リデアルかうぞハ穀桑ノ訛音デアル穀桑ハ楮ノ一名デアッテ是ヲこくさうト讀ンダノガ音便ニテかうざうトナリソレガ更ニかうぞト訛ッテ現代ニ傳ハッタノデアル、余ハ常ニ我國ニ於ケル漢字ノ字音ニ就キテ先哲ノ不注意デアッタ事ヲ慨イテ居ル者デアル字音ハ支那音ニ從フベキデ其學者ハ耳ト口トノ働キヲ嚴正ニ熟練セネバナラナカッタノデアルガ歷代多數ノ學者ハ之ヲ怠リ其甚シキハ目ニヨリテ字音ヲ知リ生レタマヽノ口カ